

# 三浦一族本貫地の考古学

— 衣笠・大矢部・岩戸地域の寺社と瓦を中心に —

横須賀市教育委員会  
生涯学習課 中三川昇

## 1. 横須賀市域の中世以前の主な寺院と瓦窯跡

- 三浦半島中央部の横須賀市域には複数の瓦窯（**乗越瓦窯**・**公郷瓦窯**）と想定地（**石井瓦窯**・**法塔瓦窯**等推定地）と国分寺以前の初期寺院（**宗元寺**・**深田廃寺**）が存在＝相模国東部における拠点的な瓦生産地域。三浦半島産と考えられる瓦は三浦半島から相模湾沿岸地域及び相模川流域まで出土。
- 神奈川県内の中世以前の瓦窯跡（中世瓦窯は未発見）は、横須賀市域以外では**唐沢瓦窯**のみ。
- **相模国分寺創建期瓦**を生産した**乗越瓦窯**は相模湾岸の海浜部に立地、三浦半島の伝統的瓦生産地とは異なる、まさに海際の瓦窯、相模国分寺まで海路約23km、河川遡航約17kmで相模国分寺。



# 宗元寺跡と関連瓦窯跡

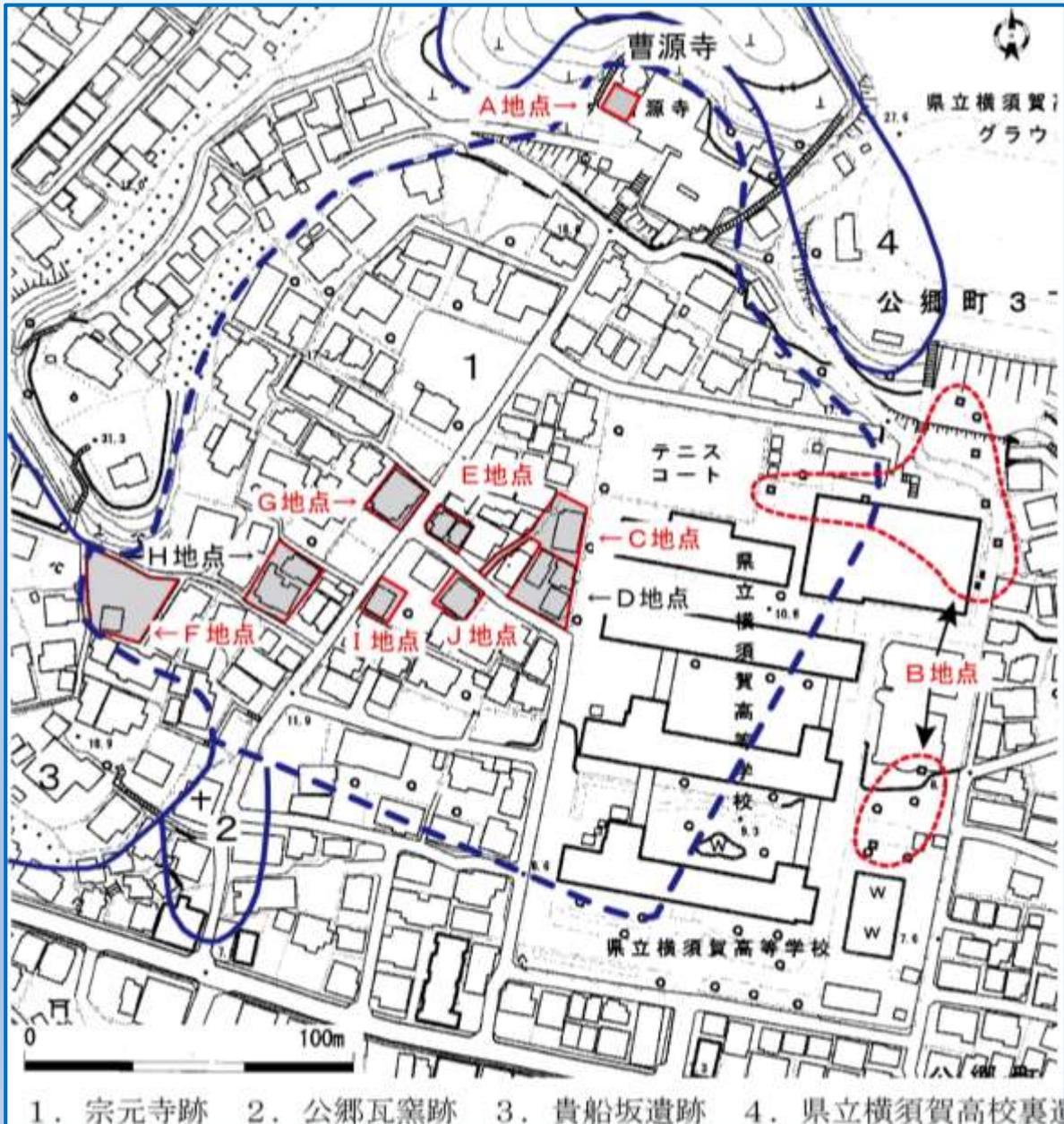


石井遺跡の調査箇所

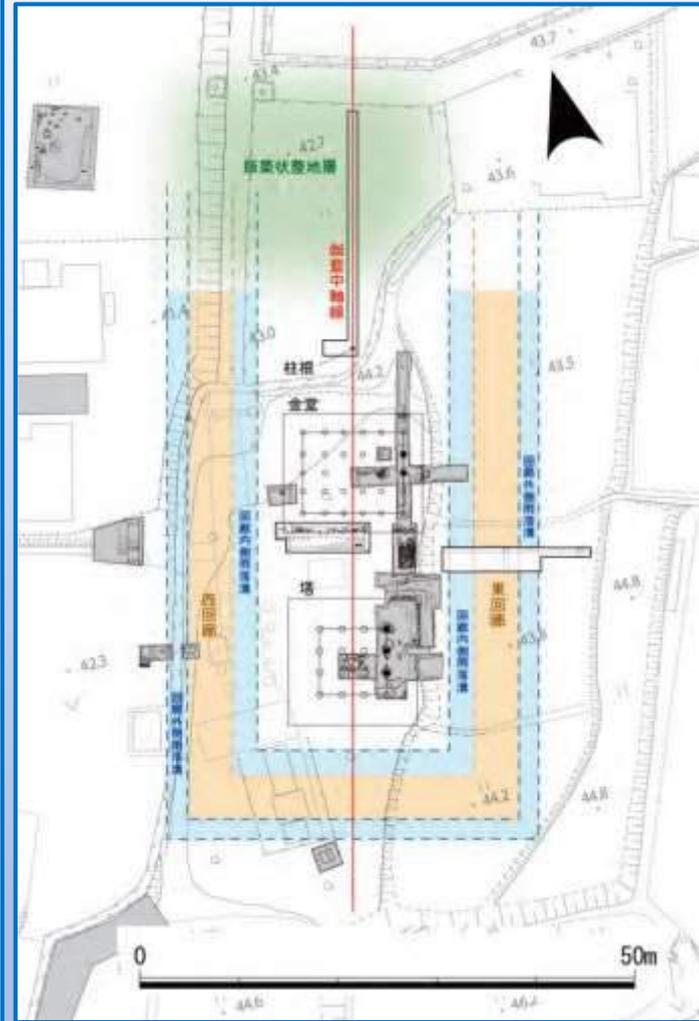


公郷瓦窯跡(昭和6年調査時)

# 宗元寺の調査区と西安寺の伽藍配置



宗元寺跡の主な調査地点



奈良、西安寺跡の伽藍配置

四天王寺式伽藍配置で確定！

『西安寺跡第9次発掘調査 現地説明会資料』

# 宗元寺創建期の軒丸瓦とその系譜



6-2 素縁素脊四葉忍冬交飾蓮華文軒丸瓦



6-1 素縁素脊四葉忍冬交飾蓮華文軒丸瓦

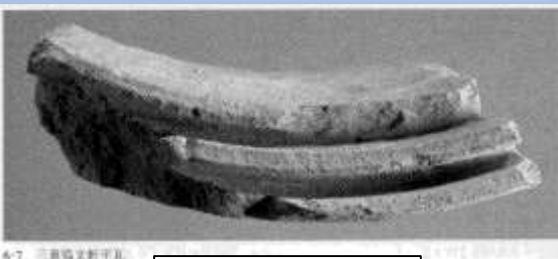


6-6 二重素縁素脊忍冬交飾四葉蓮華文軒丸瓦



6-3 素縁素脊四葉忍冬交飾蓮華文軒丸瓦

忍冬交飾蓮華文軒丸瓦

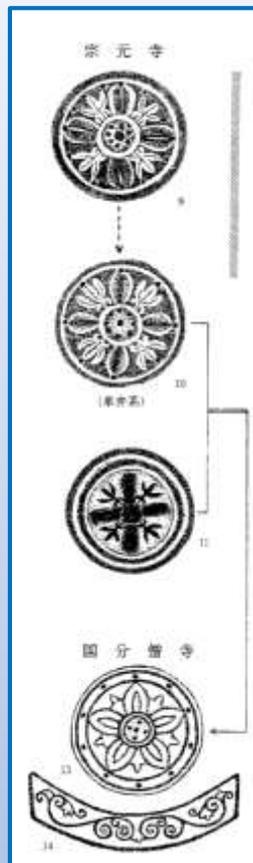


6-7 三重弧文軒平瓦

三重弧文軒平瓦



単弁八葉蓮華文軒丸瓦と飛雲文軒平瓦



高句麗出土の軒丸瓦

高句麗出土の軒丸瓦



西安寺の忍冬交飾軒丸瓦と三重弧文軒平瓦





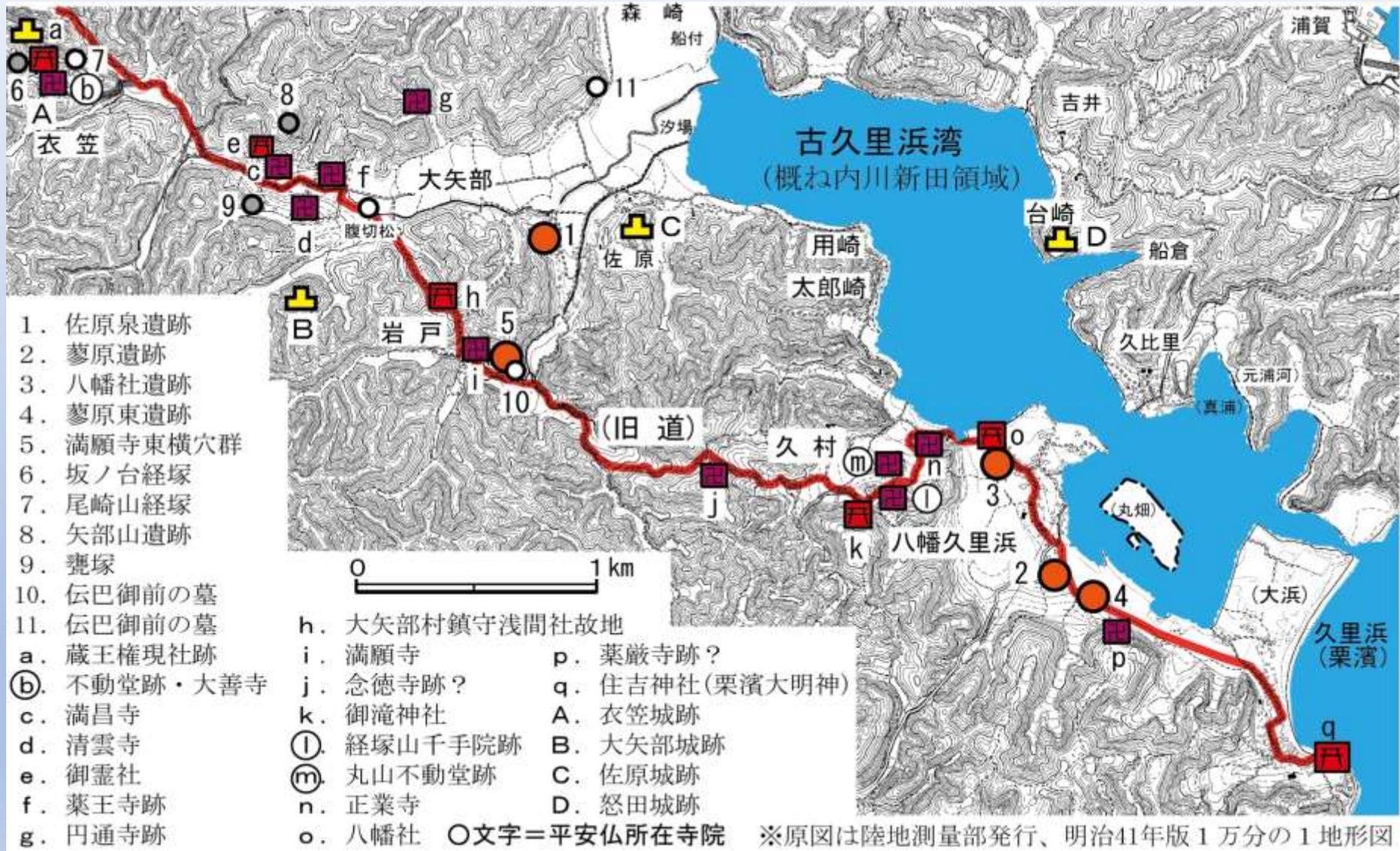
# 三浦半島地域の古代末～中世初期の主要遺跡



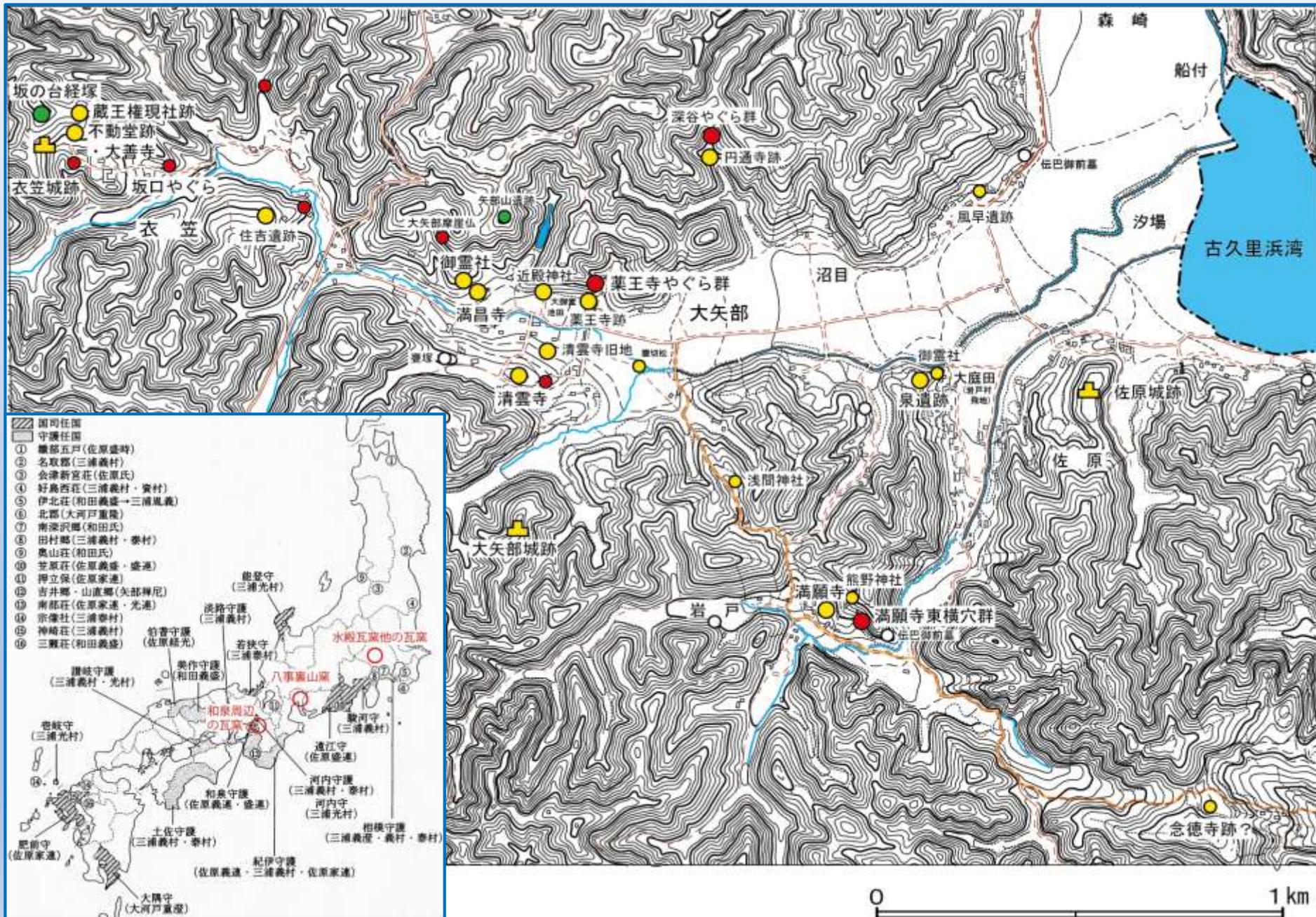
1. 仮称「古久里浜湾西岸中世遺跡群」
2. 鉦切遺跡
3. 日向遺跡
4. 宗元寺
5. 中馬堀遺跡
6. たたら浜洞穴
7. 怒田城跡
8. 仮称「長沢1号墳経塚」・熊野社下遺跡
9. 間口遺跡・大浦山洞穴
10. 安楽寺跡
11. 経塚古墳
12. 芝下遺跡
13. 太田和館跡
14. 芦名浜遺跡
15. 十二所神社(十二天社)
16. 浄楽寺
17. 神武寺
18. 池子遺跡群
19. 岩殿寺
20. 杉本寺周辺遺跡

- 主な遺構・遺物出土遺跡
- 中世以前からの主な寺社
- 三浦氏関連の地名

# 古久里浜湾西岸地域の古代末～鎌倉時代の主要遺跡

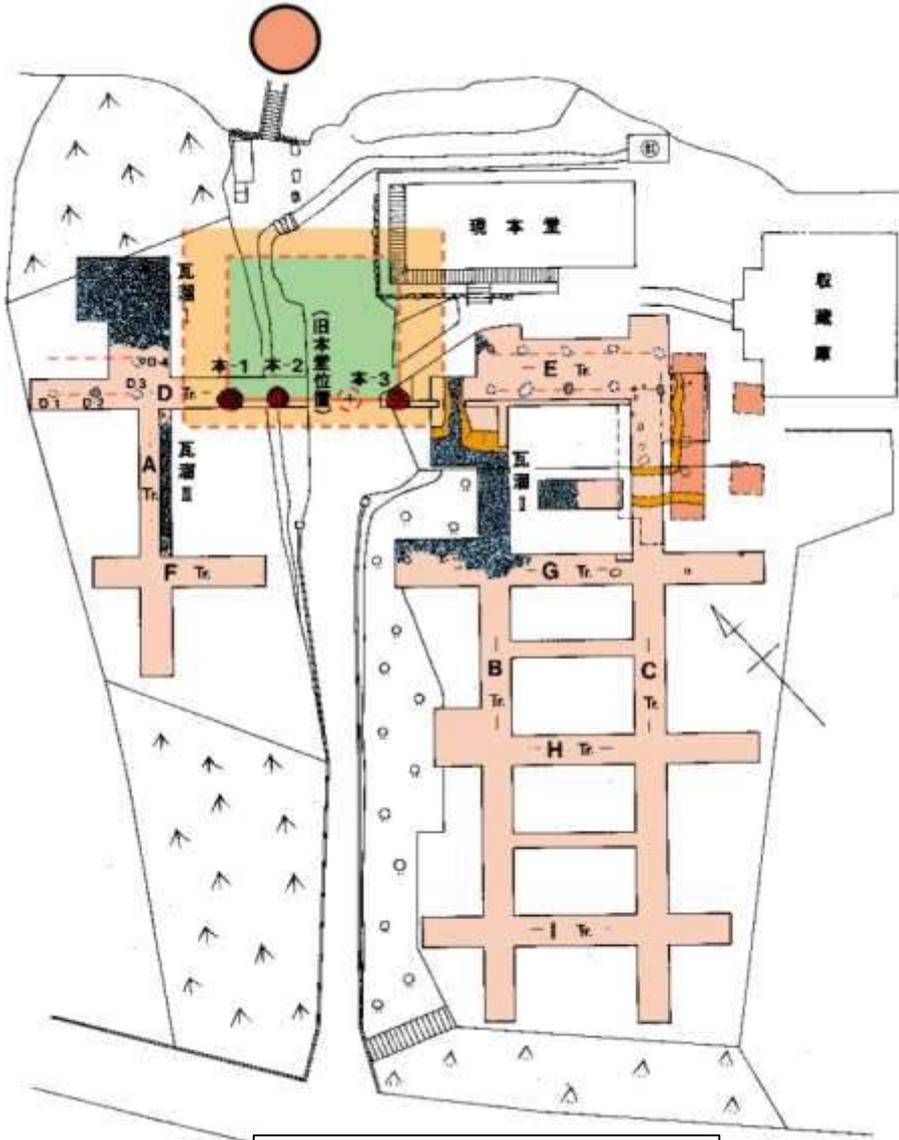


# 衣笠・大矢部・岩戸地域ほかの主要遺跡



# 満願寺と関連遺跡

伝「佐原十郎義連廟所」



満願寺跡の調査区と遺構



満願寺遺跡と周辺の遺跡



満願寺現況



伝「佐原十郎義連墓」



満願寺の旧礎石

# 満願寺の主な出土瓦



東海産瓦



八事裏山窯産瓦

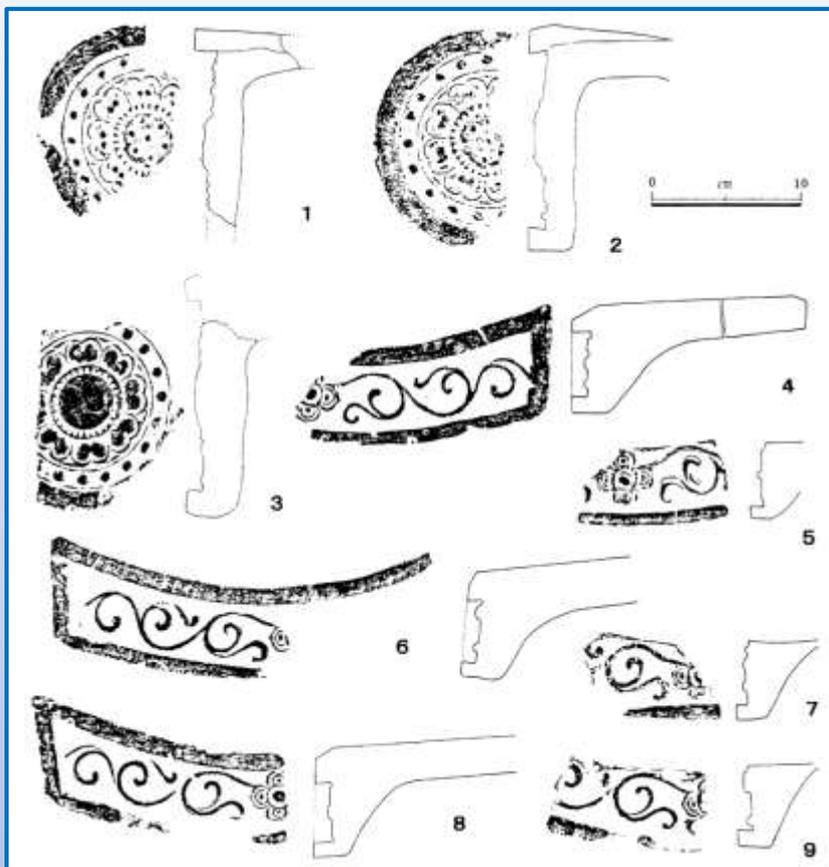
主体的な軒先瓦



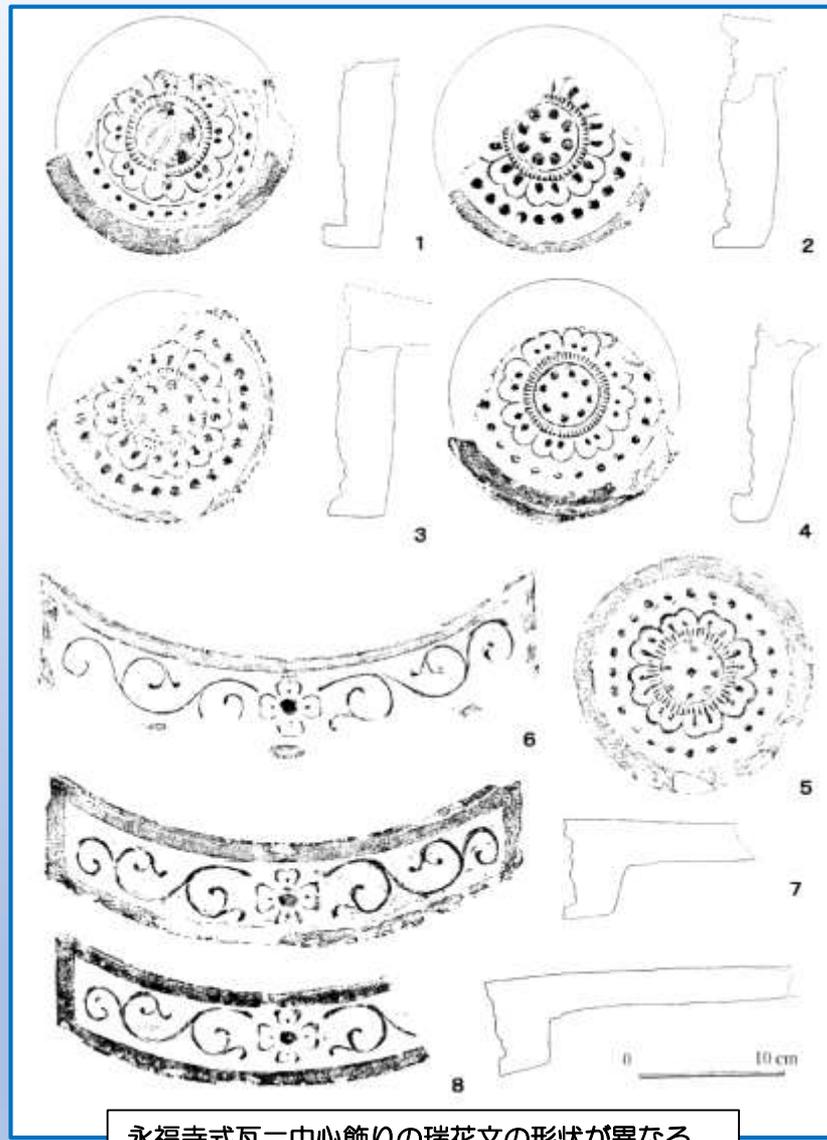
鬼瓦2種

これより以下の写真で示した瓦及び土器、陶磁器類は全て横須賀市自然・人文博物館の所蔵品です

# 八事裏山窯の主な軒先瓦と永福寺創建期の軒先瓦



中心飾りは瑞花文

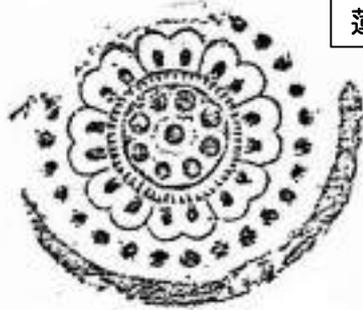


永福寺式瓦＝中心飾りの瑞花文の形状が異なる

八事裏山窯の蓮華文軒丸瓦と唐草文軒平瓦

永福寺跡出土の創建期軒先瓦

# 永福寺式軒先瓦と満願寺創建期の軒先瓦



蓮華文軒丸瓦

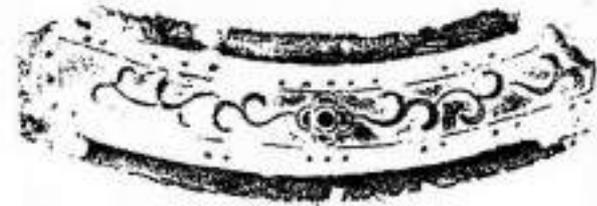


三つ巴文軒丸瓦

中心飾り・忍冬文が相違、圈線と珠文がある！



永福寺創建期の永福寺式軒先瓦



満願寺創建期の軒先瓦



2点単位の珠文



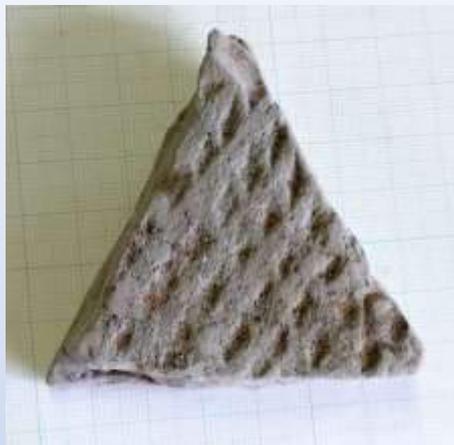
満願寺跡出土の軒平瓦

列点状の珠文

# 満願寺遺跡出土の平瓦とその他の出土遺物



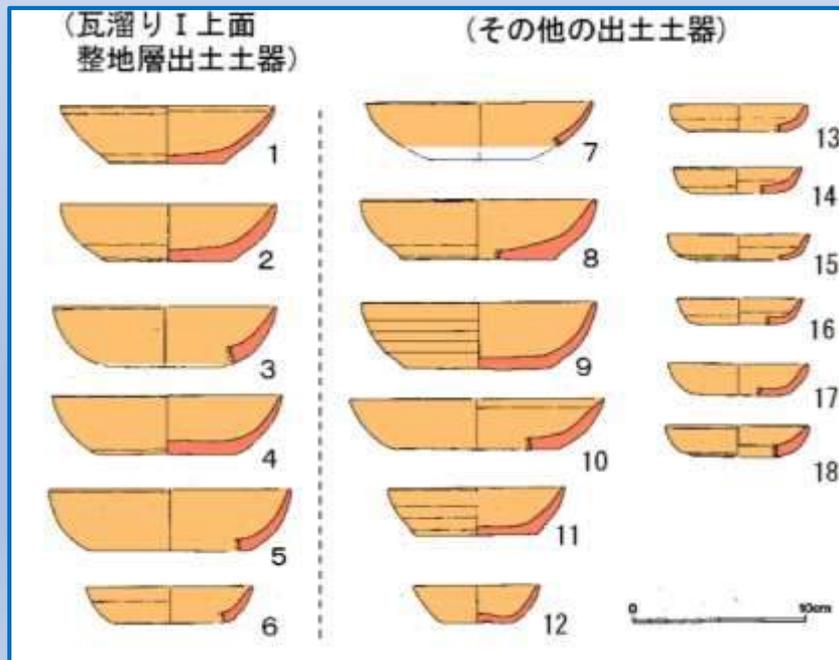
凸面縄叩き平瓦



凸面格子叩き平瓦①



凸面格子叩き平瓦②



満願寺遺跡出土かわらけ

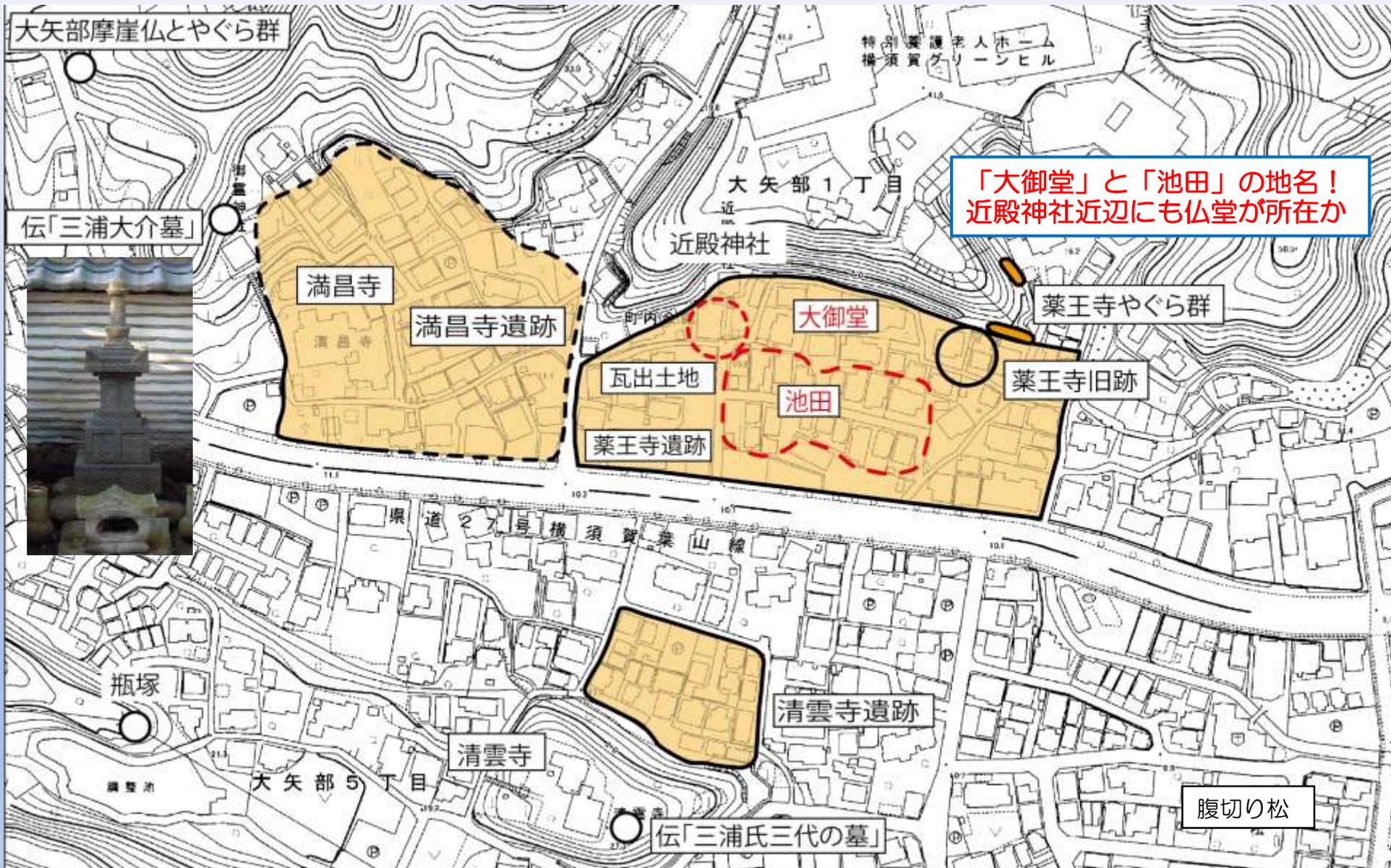


満願寺東横穴出土土器

# 満願寺遺跡出土瓦と永福寺式瓦ほかについて

- 名古屋市天白区の「八事裏山窯」は6基の窯跡からなる12世紀の瓦陶併焼窯。
- 4時期に分けられ、Ⅱ期には鳥羽離宮へ、Ⅳ期には永福寺とその周辺地域（鶴岡二十五坊跡・千葉地東遺跡・満願寺・浦賀・コクゾウ塚・石田細谷遺跡など）、窯跡周辺地域等に瓦を供給。
- 永福寺での八事裏山窯産瓦は69点で全体の総数約13万点の1%未満。創建期の軒先瓦は八事裏山窯産瓦を祖型とした永福寺式瓦（これを祖型とした瓦は関東各所で出土）。
- 満願寺創建期の軒平瓦は八事裏山窯産瓦に類似した瓦。永福寺式軒平瓦の瓦当にはない圏線と珠文が周囲に巡り、中心飾りである瑞花文の花弁の形状や忍冬唐草文も相違する。軒丸瓦は三つ巴文軒丸。
- 満願寺の八事裏山窯産及び東海系瓦はごく少量（10点前後か）、満願寺地出土瓦の総数は約3,000点。
- 満願寺は昭和48年と63年の確認調査で礎石・礎石跡と柱穴跡・瓦溜などを確認。主要建物は柱間三間四方。
- 調査区域は想定される満願寺域の一部分のみ。現状で全体の伽藍配置などを確定するのは困難。

# 大矢部中心地域の主な遺跡



# 市指定史跡「薬王寺旧跡」と薬王寺やぐら群



薬王寺旧跡と薬王寺やぐら群の配置



1号やぐら出土の常滑焼き壺



伝「三浦義澄墓」



石造双式板碑

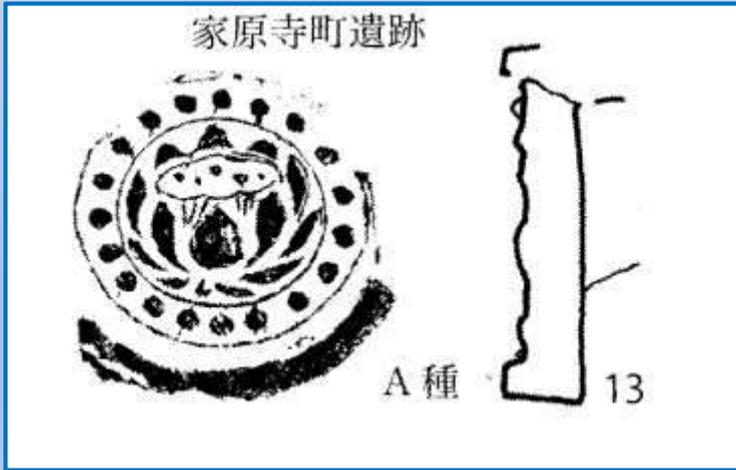
# 薬王寺遺跡（近殿神社地区）出土の和泉・河内産瓦



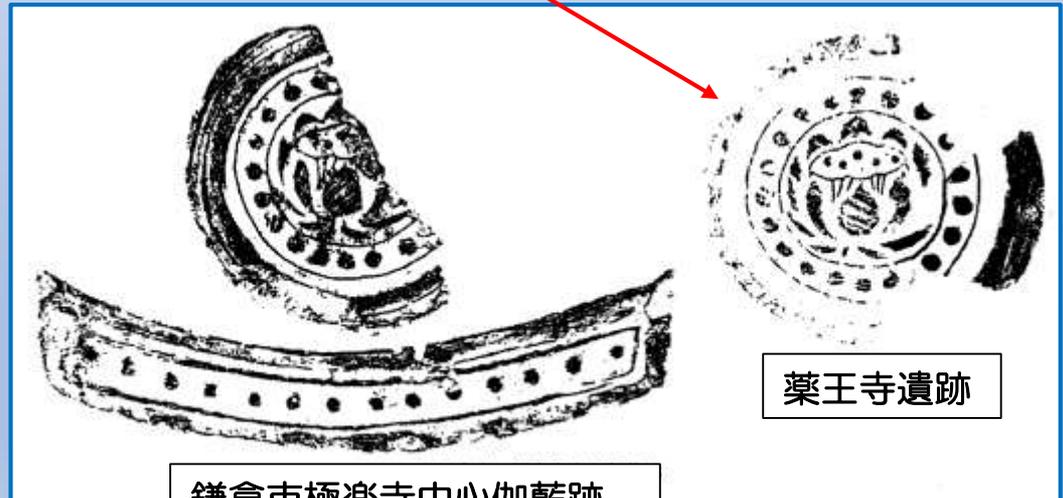
巴文軒丸瓦

側面蓮華文瓦

巴文軒丸瓦



側面蓮華文軒丸瓦A種



鎌倉市極楽寺中心伽藍跡

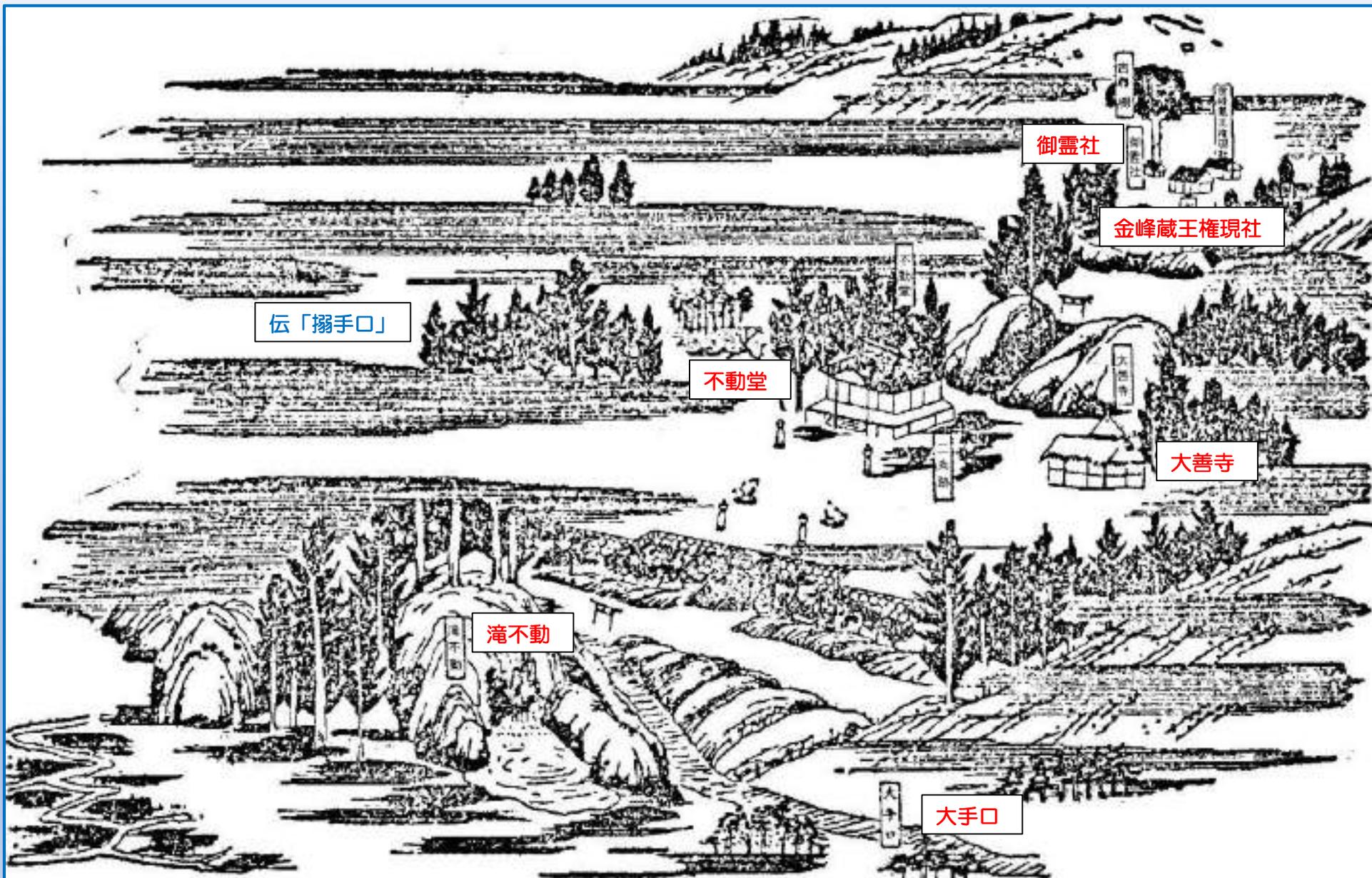
薬王寺遺跡

神奈川県出土の側面蓮華文瓦

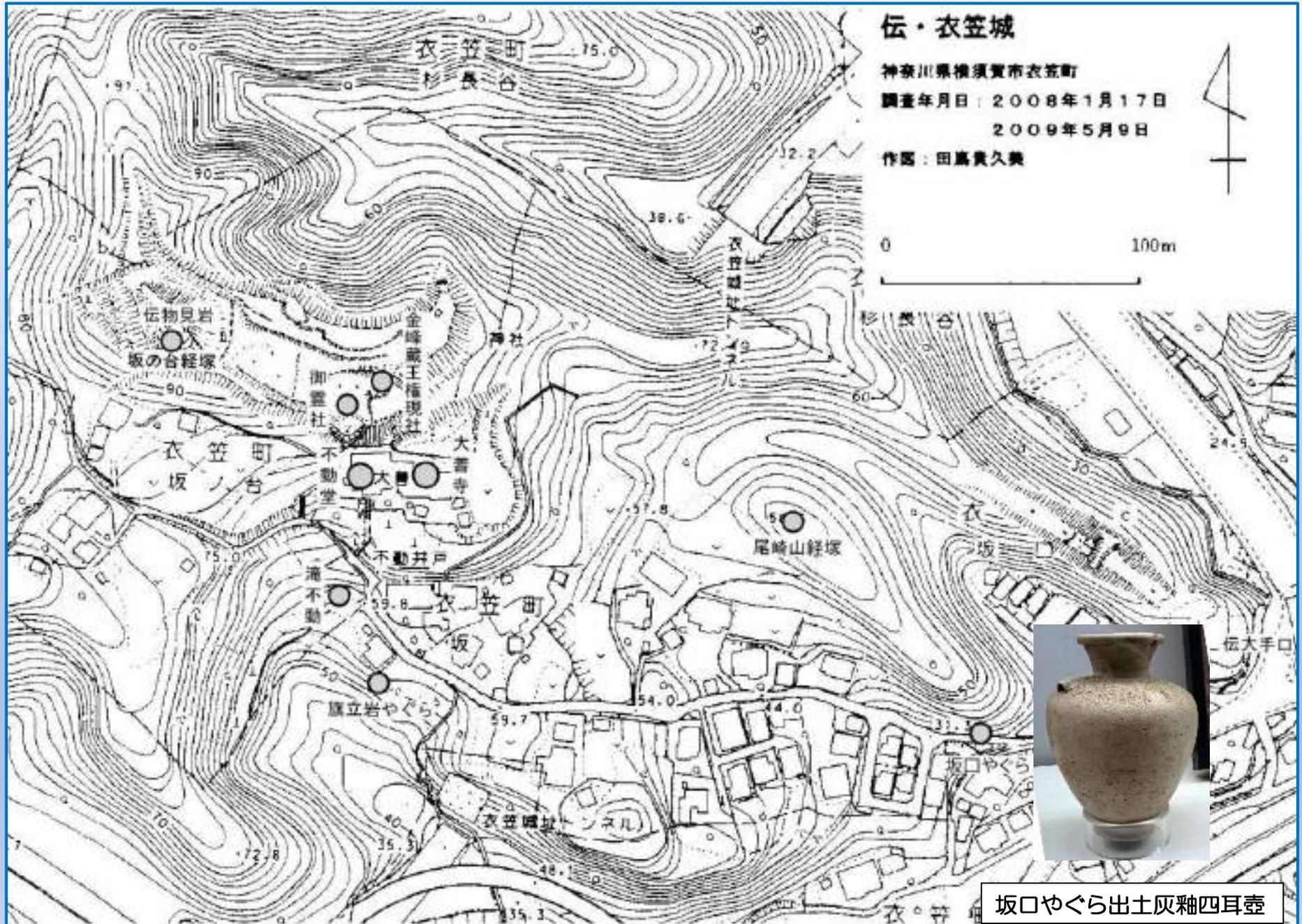
## 薬王寺遺跡と薬王寺やぐら群について

- 近殿神社境内を含む薬王寺遺跡は西側に伝「三浦義澄墓」のある市指定史跡「薬王寺旧跡」、東側に三浦義村を祭神とする近殿神社、その間に「大御堂」と「池田」の地名。
- 最後の薬王寺仏堂は明治時代初期に焼失。位置は「薬王寺旧跡」より南側。満昌寺に薬王寺本尊の三浦義澄持念仏と伝わる仏像あり。
- 近殿神社境内とその近隣地からは鎌倉時代前期から中頃の河内・和泉（大阪府）産の「側面蓮華文軒丸瓦」を含む中世瓦が出土。未確認の仏堂が存在した可能性大。
- 「大御堂」の名称からは未確認の仏堂の存在が、「池田」の小名称からは苑池の存在が窺われる。
- 全体で一つの臨池伽藍寺院が存在か（仏堂全てが瓦葺とは限らず）→誰が関わったのか。和田義盛の関与は伝説的。全般に三浦義澄・義村・光村ら三浦氏本宗家に関わる伝承が少なすぎる（抹消されているのか？）。

# 衣笠城跡絵図（新編相模国風土記稿）



# 衣笠城跡内の遺跡と寺社



伝・衣笠城

神奈川県横浜須賀町衣笠町

調査年月日：2008年1月17日

2009年5月9日

作図：田島貴久美

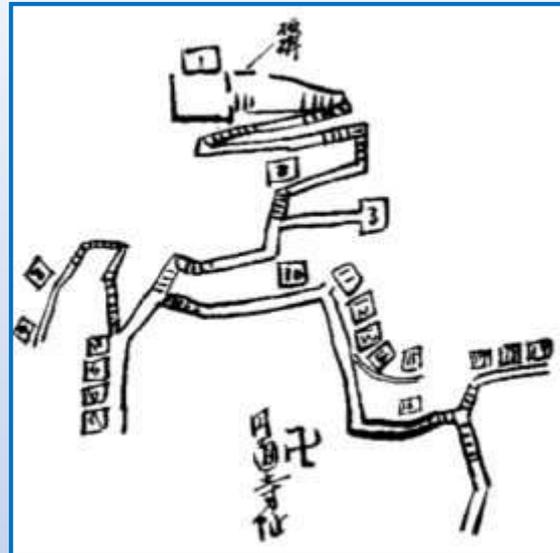


坂口やぐら出土灰釉四耳壺

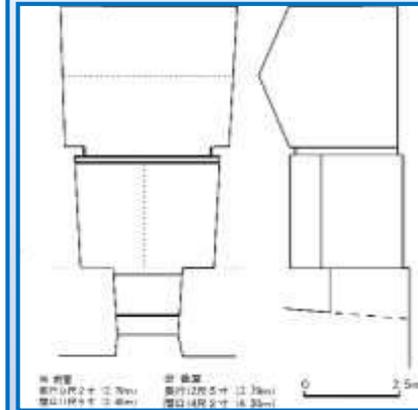
# 円通寺跡と深谷やぐら群



新編相模国風土記稿の絵図



赤星先生作成のやぐら配置図(S14)



1号穴模式図



伝「三浦氏三代の墓」



木造観音菩薩像



文永八年銘板碑



1号穴現況

# まとめ

## ○治承4(1180)年以前

- 11世紀～12世紀前半頃の遺跡は僅少。
- 11世紀代は佐原の和泉遺跡のみ、12世紀前半以降は蓼原遺跡・蓼原東遺跡・八幡神社遺跡などの久里浜周辺地域に遺跡が展開。衣笠・大矢部地域と東京湾を繋ぐ湊としても機能か。
- 11世紀後半？以降、大矢部地域の円通寺や清雲寺等の寺社と三浦氏の墓が造営される。「衣笠城跡」内には金峰蔵王権現社や別当大善寺・不動堂・坂ノ台経塚などがあるが墓所はなく、大矢部地域西方に位置する山上の聖地だったか。

## ○治承4年以降

- 「衣笠城の合戦」の実態は詳細不明で諸説あり。
- 大矢部地域が三浦氏本宗家の「墓所」と関連寺域が多数所在した大矢部とその周辺地域がまさに三浦氏本貫地。大矢部の円通寺跡とやぐら群、岩戸の満願寺ほか多数の遺跡が、その実態を解明される日を待ち続けているはず。

以上、ご清聴ありがとうございました！